



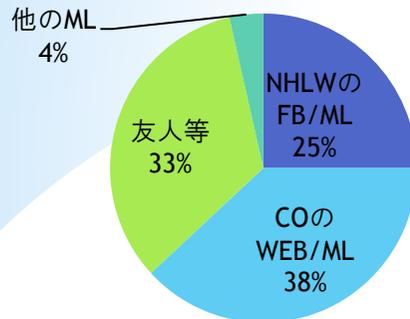
官民協働ネットワーク「Crossover」、厚生労働省若手グループ「NHLW」共催
異業種ディスカッション大会(2016年2月6日(土))



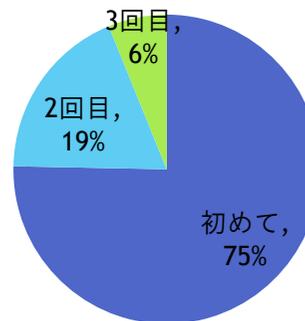
組織・社会に『多様性』は必要か？～社会と私の立場から～

【アンケート結果】

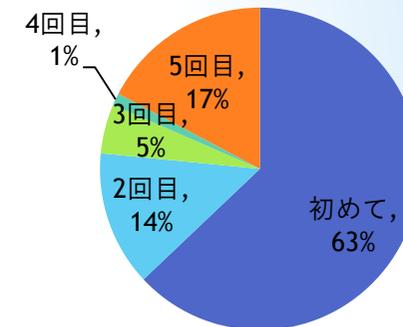
Q1: イベントを知った方法



Q2: NHLW参加回数



Q3: CO参加回数



参加者のコメント

- * 今日はたくさんの方々と会え、話す時間を長く取れ、大変楽しかった。学ぶことも多かった
- * テーマが日常生活に関わるので明日からどう過ごすか具体的に考えることが出来た
- * 新たな出会い、気づき、行動を次回に活かしたい！
- * 今回は沈黙の時間が少し多かったように感じた。テーマが難しかったのですが、それだけ時間をかけて真剣に話し合う必要性を感じた
- * NHLWと比較して年齢層が多様。NHLWの方もそうだが、Crossoverの方のファシリテーション力が高く議論しやすかった
- * グループの人数が多かったので、時間が足りなかったように感じた。テーマが大きかったので、議論が深まりきれなかったように感じた
- * テーマがシンプルながら、取り組まれたテーマがまさに「多様」であったことから、頭がかなり混乱しましたが、刺激になった
- * これまではポスターを上手く作ることに重きが置かれていましたが、対話(inputとoutput)を繰り返すことにより今日の4時間で考えたことが、形而下におかれた気持ちになった
- * 政策に生かしていくという議論だけでなく成果を求めていたので質問や回答がクリアでよかった
- * セッション1で大テーマで「多様性」について話し合い、セッション2で各テーマを通して「多様性」を考えることで密な議論ができた

スタッフのコメント

今回のディスカッション大会への参加によって、『出会い』×『気づき』×『行動』を各参加者が得られたようでとてもうれしく思っています。次回のディスカッションへの参加もお待ちしております！

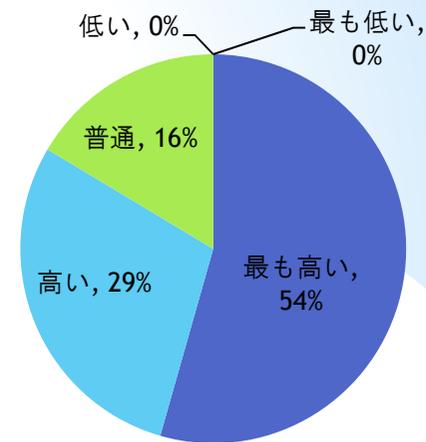
【アンケート結果】

Session1: 組織・社会に多様性は必要か？

参加者のコメント

- * 異なる価値観に振れられて勉強になった。参加者に恵まれた感じがした
- * 初めての方の集まり・異なる職種の方から、それぞれ発せられる意見は新鮮だった
- * 沈黙が少し多かったと感じた
- * 多様性というテーマに関して、賛成反対の意見を出し合って共有でき、新たな気づきになった
- * 初対面のメンバーでも、活発な意見交換が出来て刺激を受けた。話しやすい場づくりをしてもらえた
- * よく全体的な流れを考えてリードされていた。非常にバランスのとれたディスカッションになったので楽しく参加できた
- * 多様性はよいことという抽象的なイメージは同一だった各メンバーがネガティブな面、ポジティブな面を書き出すことで多様な意見に気づけた
- * 様々なバックグラウンドを持った方々の考えをうまく引き出し、新たな視点が得られた。意見が素直に引き出されていた
- * 仕方のないことだが発言者に偏りが生じて、その人同士のやりとりになってしまいファシリテーターの提示した問いを深めることができなかった。ただ議論は活発だったので示唆に富んだことが聞けた
- * 「多様性」は一見進めていくべきと思われがちだが、省庁や国の中心に関わることで、そうではない場合もあるとの意見を聞いて、一概には言えないものだと、ある意味、多様性に触れたと思った
- * 異業種の人が集まり、とても楽しかった。みんなの仕事や経験を話してもらい、初めて知ったことも沢山あった

Q4: Session1満足度



スタッフのコメント

そもそも、「多様性とは何か」という問いかけに向き合っていただくことで、言葉の持つ真の意味について考える機会となればと考えていました。このSessionを通じ、参加者の活発な意見や思いを聞くことができました。楽しい時間をありがとうございました。

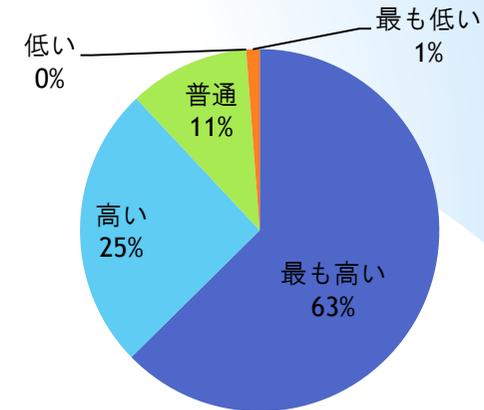
【アンケート結果】

Session2: 多様性をめぐる個別テーマ

参加者のコメント

- * より専門性の高いテーマだったのでもう少し知識を付けてまた参加したい
- * 具体的な経験やそれに基づいた意見などをうまく引き出して自由闊達な議論ができた
- * 様々な視点が出きらず、偏った議論になった印象
- * ワークライフバランスを考える際には、多様性の考慮は重要だと思った
- * 全員が述べた意見をまとめ見事なファシリテートだった。即実践に使えるような気があった
- * 政策の実務に関わっていて、内容が実務的だった。参加者の意見を聞こうという姿勢も、内容を考える助けになった
- * 5人の小グループに分かれて話しをしたことで一人ひとりの意見をよく聞くことができた。またファシリテーターの論点の提示が明確で効果的だった
- * ディスカッションの進め方、ファシリテーターの方々の気遣いなど、とても良かった。グループ全体としての結論は？まとまらないものも「多様性」かな？
- * 「雇用」という切り口ではなく、社会での障害者の認知という観点で話すことができ、非常に意義深かった障害という境界線を引くことと消すことが大切だと思った。半分にわけてチームで話し合ったのが、話しやすくてよかった
- * もともと関心はあったが、特にディスカッションする機会はなく、これまできたので勉強になったのと同時に、移民問題以外でも商店をあてるべき、教育(個々の人間をどう育てるのか)についての重要性が再確認できた
- * 活発な意見交換でしかも幅広く、色々な方角からやりとりできた。まず、背景も様々なのでどんな話を聞いても楽しく、多様=楽しいということを実感した。テーマの移民も、普段もんもんとしていたので、ディスカッションでやりとりして、クリアになったこともあった

Q5:Session2満足度



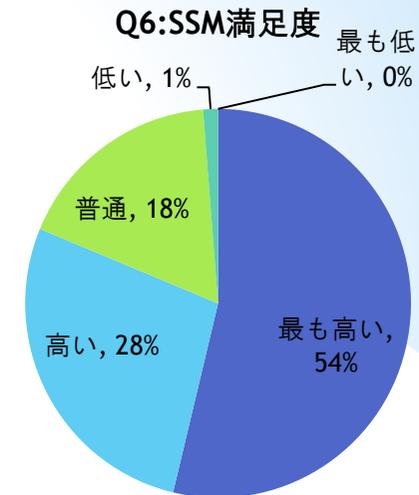
スタッフのコメント

多様性をベースとして、定年退職、介護、ワークライフバランス等の各テーマ別にチームに分かれディスカッションを実施。各自が選択して参加したテーマただけに、Session1からさらに白熱した議論が展開されており、スタッフ一同参加者と一体になって、考えを深めることができました！

【アンケート結果】 Super Short Meeting

参加者のコメント

- * 初対面の方と話しをするには丁度良い時間で有意義な振り返りができた
- * 知らない人と話す機会が半強制的に確保されよかった
- * 自分の言葉で話さなければならないので、頭の中を整理できた
- * 短時間のため、中身の濃いディスカッションや集中して話せた。
- * 恥ずかしかったが、自分の考えを人に話すことで考えが整理されて良かった
- * 凝縮して今回の振り返りを共有できたこと、そのために整理する時間を得られてよかった
- * 参加者のまさに多様な問題意識に触れることができ、大きな刺激とパワーをもらった
- * 短い時間でたくさん話せたし、聞くことができた。盛り上がった勢いをそのままぶつけることができ楽しかった
- * 他の班の状況がわかったので楽しかった。議論したことをさらに深められた
- * 自分の考えがまとまるいい練習となった。いろんな人と話をするので、こういう機会はありがたい
- * プレゼン力を鍛えられる。新しい人に出会えて楽しかった
- * 短い時間で出会いから気づきのシェア、自分の変化・行動までを確認でき、良かった
- * 短時間で有意義な出会いが一気に3人とできた
- * 今までの共有の仕方は、全員に対し「発表」だったので、このやり方の方が自分の気づきや、明日からの行動に直結できた。色々な人との出会いのしめが1対1はうれしい



スタッフのコメント

113名もの参加者がいるので、まだ話したことが無い人とペアになることで、新しい『出会い』、新たな考え方に『気づき』、次に繋がる『行動』を共有できたことと思います！
SSMからの出会いがきっかけで、スタッフとなってくれた仲間もいます。